

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2171

2 期連続トップ当選

トヨタ自動車工場視察見学

トヨタ自動車本社の工場見学に伺いました。工場へのカメラや携帯電話の工場持ち込みは禁止されており、見学施設のトヨタ会館の保管ボックスに入れて出発することになっています。工場見学では、この種の規制は普通です。技術面の流出を防ぐ目的とされていますが、働く人への配慮もあるように思います。

さて、入場したのは元町工場と言い、1959年操業、時代によって製造車種が変更され、今はクラウンとエスティマ、及びレクサスが製造されています。なお、アジアでは最初の乗用車専門工場だと言うことでした。

工場に入って直ぐに、部品の入ったボックスが並んでいました。いろんな部品が有りますので、それを人が取り分け、搬送用ボックスに入れ、台車に積み、バッテリー式の牽引車で必要な個所に搬送します。その全てに案内記録があり、バーコードが貼ってあります。ジャストインタイム＝必要な時に、必要な量と言う発想で部品が運ばれていました。自動化（「自ら動く」になく、自ら働く）と言う、トヨタ式の考えがここにも出ていました。ライン上は、一定の間隔で複数の種類の車が移動していました。混流ラインの発想で、いわゆるオートメーション的なラインでなく、「自動化」が図られて、組立作業の就業者がストレスを発生しにくい設定になっています。

実際に、見学者がその見学コースから見下ろすと、組立工が、部品を搬送されてきた搬送ボックスから取り出し、手元のボックスに必要な部品を集める作業を行います。これらは

全て看板に表示されており、過不足なく、取り付けられていきます。

この作業中、人が作業をしやすいように、ドアは取り外されており、スムーズに室内に入入りできていました。このやり方自体も、より効率的に、より安全に作業ができやすいように考案されたものだと説明がありました。確認していませんが、トヨタ自動車が開発された方法でしょう。

車両はすでに塗装が行われていますが、それは塗装にムラが発生しないように、一体塗装をた上で、その後、ドア部を取り外し、内部の組立作業が終了後、再度、ドアの取り付けが行われるそうです。

混流ラインのために、目の前にある車は1台1台が別の車種になっていました。注文に応じた設定が可能になってはいますが、「看板方式」の部品揃えがきちんとできていないとそれらが上手くつながらないと思われます。見学廊下から見ても、部品の名称、バーコードが見てとれます。(次ページへ)



トヨタ自動車鞍ヶ池記念館も合わせて訪問。初期の車両：名車のクラウンが中央に配置。

★無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（市議会議員）

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード
でブログ閲覧

研修レポート⑨ 岡澤 優紀

町田市野津田にある自由民権資料館を訪問をしました。学芸員の方に説明をして頂きながら、中島信行と岸田俊子についての特別展を見学しました。お話を聞いていくうちに岸田俊子について興味を持ちました。彼女は平民で初めて宮中へ出仕をし、皇后に「孟子」を御進講する役目となり、憧れの的になりますが、病気のためにわずか1年で辞めてしまいます。おそらく鬱病であると推測されると説明して頂きました。しかし、彼女はその後すぐに、日本各地で政治演説会を開催し熱心な講演活動を行っています。なぜ宮中の仕事を、病気を理由に辞めたにも関わらず講演をしていったのかが疑問として残りました。

その後、二人はこの武相地域において民権運動を進めていきました。町田市と隣の市である相模原市はもともと一つであったと聞きました。確かに、今の町田市は東京都であるので相模原市民にとって町田市が裏切ったという印象が強くあり私もそう考えていましたが、当時の自由民権運動の勢力を衰えさせるために国が分断をしたのだと聞き、当時の権力はとても強く市民が口出しできるものではない体制であったことがわかりました。



明治大学 3 年生 岡澤 優紀(第 36 期生)

政治思想家 岸田 俊子

(この部分は、吉田つとむが書きました)

岸田俊子は若干 20 歳ほどで、多数の聴衆を前に演説、講演を行っています。そのスタイルは、「岸田社中」という名称で(10 歳ほどの)お弟子さんを伴い、演壇に立つやり方は現代にもない政治スタイルでした。比して言うなら「出雲阿国」のようでもあり、一座風の演説団の姿にも斬新性があったのでしょうか。その岸田俊子の演説・講演は当局の弾圧を受け、たびたび解散・中止にさせられます。しかし、本人は学術講演会と称し、あるいは懇親会の名目で演説会を絶えず開催しています。そうした方法で、全国遊説を少しも休まず続ける様子が、そのスケジュール記録を通じて見てとれます。当時の錦絵の作品には、岸田の演説会場に青年男子の聴衆も数多く描かれており、その人気度は図り知れないものでした。当時の音声や映像があれば、その魅力はもっと身近に感じることができるとでしょう。

表面の続き：工場視察見学

さて、途中でトラブルが起きた時は、どうするか。ラインに沿って、頭上にロープが張ってあります。それを引くと、ランプの色が変わり、音になります。そうすると、ラインの責任者がその作業員と一緒に問題解決を図り、事態を解決します。そうすることで、ラインを再度動かすことができるようになります。これは「自動化」でなく、「自働化」とされる所以でもあります。これらの生産方法は、他の方法も含めて、トヨタ生産方式と総称されています。トヨタ自動車の先進性、ダイナミック性を勉強できました。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp